

1 月 定 例 教 育 委 員 会 会 議 録

- 1 開 催 日 令和4年1月6日（木）
- 2 開 催 場 所 国際交流センター 2階 201号室
- 3 出席した委員 小南教育長、廣岡委員、播委員、坂元委員、土屋委員
- 4 出席した職員 織田教育総務部長、神吉教育指導部長、
稲岡教育総務部次長、杉本教育指導部次長、
桐山教育指導部学校教育担当参事、
岸田教育総務課長、小川学務課長、梅野社会教育課長、
尾崎学校教育課長、今津青少年育成課長、
加藤教育研究所長、中川教育総務課副課長、
福本教育総務課学校規模適正化担当副課長、
岡本教育総務課管理調整係長
- 5 傍 聴 者 4人
- 6 議 事 の 要 旨
- 開 会 午後2時
- 会議録署名委員指名のこと
坂元委員に決定
- 12月定例教育委員会の会議録報告承認のこと
（事務局から会議録朗読報告）
承 認
- 会議公開の可否決定のこと
専決報告1「市内中学校における事案について」は非公開とし、他は公開することに決定

(専決報告)

- 1 市内中学校における事案について
(議事を非公開とする)

(協議事項)

- 1 「加古川市立幼稚園の今後のあり方について」の策定について
(教育総務部次長から説明)
原案可決

委員：統廃合等は認定こども園化を含むということがわかる表現にした方が、近くの幼稚園がなくなってもこども園がある、という安心感につながる。

6ページの公立幼稚園の役割については、これまでも取組んでいる内容だが、この表現であれば、今は取組んでいないように感じられるため、表現を検討してほしい。

特別な支援が必要な園児は年々増加しており、それに伴い先生の確保が重要となる。多くの人の理解を得るためにも、増えていることを記載すべきである。

事務局：認定こども園化の具体的な内容については、教育委員会とこども部で連携して定めた「第二期加古川市立幼稚園及び保育園の認定こども園化推進方針」があり、そこで方針を記載していく。

6ページの公立幼稚園の役割については、園長会でも協議を行い、現在も取組んでいることも含めて役割を明示してほしい、との意見がありこういった記載にしている。

特別支援ルームについては、園児5名に対し教員1名を基準に配置を進めているが、実情として教員が欠員となり、介助員で対応している園も多くある。できる限り教員を確保できるよう、勤務条件等の処遇改善に向けて関係部局と調整を進めているところである。また、保育士・幼稚園教諭の処遇改善のための国の補正予算も活用しながら、教員の確保に向けて取組んでいきたい。

委員：パブリックコメントでは、預かり保育に対する意見が多かったが、どのような意見があったのか。

事務局：14時以降も預かりをしてほしいという意見が最も多かった。

また、長期休業中も預かって欲しいという意見も多かった。

就労支援としての預かり保育については、保育園がその役割を担っており、14時以降の預かり保育については慎重に考える必要があるが、長期休業中の預かりについては、教員の負担はあるものの、保護者負担の軽減につながるため、実施については今後検討をしたい。

教育長：いただいた意見をもとに修正する。修正内容については一任いただき、原

案可決としてよろしいか。

各委員：(異議なし)

2 両荘地区義務教育学校の校名の決定について

(教育総務部次長から説明)

原案可決

委員：「きずな」より「みらい」の方がより大きな概念であり、「みらい」という言葉に「きずな」という意味も含まれることから、「両荘みらい学園」が良いと考える。

委員：私も「両荘みらい学園」が良いと考える。

委員：私も同意見である。

委員：「両荘学園」もシンプルで良いと思うが、「両荘みらい学園」について異論はない。

教育長：校名については、「加古川市立義務教育学校 両荘みらい学園」に決定する。

3 加古川市立青少年女性センターの設置及び管理に関する条例施行規則を廃止する規則の制定について

(教育指導部参事から説明)

原案可決

委員：貸館機能移転後の青少年女性センター施設の名称はどうなるのか。

事務局：正式な名称は決まっていない。

○ 次期定例教育委員会予定日のこと

2月3日(木)午後2時から開催することに決定

○ 教育長諸報告

(1) 播磨東教育委員連合会研修会について

12月15日(水)に研修会があり、大阪大学名誉教授の講演を聴講した。講演では、教職員として保護者に対するリスペクトが重要であること、教員は学校や教育に対しポジティブな思いを持っている人が多いが、保護者の中には学校への不信感や学校でつらい思いをした人がいることを理解した上で対応をする必要があること、また教員自身の心身の健康状態を最優先にすること、といった話があった。

(2) PTA 小学校将棋大会について

12月18日（土）に2年ぶりに開催され、18チームが参加した。準決勝、決勝では技量の高い小学生が多く、感心した。井上慶太9段が小学生の指導をしたり、6人相手に将棋を指したりしており、子どもたちが非常に喜んでいた。

○ 教育委員諸報告

〔廣岡委員から〕

（1）教員に対する損害賠償請求について

プールの水の管理を怠り、水道料金を校長、教頭、担当教員が支払った事例が他の自治体である。国家賠償法があるが、軽微な過失でも個人で損害を賠償しなければならない状況もあることについては、教員に注意喚起をしてもいいのではないか。

〔播委員から〕

（1）オミクロン株について

今後、感染者が増加する可能性があるため、先回りをして対策を考える必要がある。

○ 教育総務部長諸報告

（1）令和4年度採用加古川市職員（幼児教育士）の追加募集について

12月27日（月）から1月12日（水）まで、令和4年度採用の加古川市職員（幼児教育士）の追加募集を行っており、採用予定人数は、幼児教育士7名程度となっている。

（2）就学援助（入学準備金）の申請受付について

入学準備金の申請受付を1月27日（木）から2月15日（火）まで行う。

委員：申請書類が受付された段階で、要件に該当し認定となるのか。受付後に審査があるのか。

事務局：所得要件があるため、加古川市で所得が確認できる方については受付段階で確認できるが、それ以外の方は、書類受付後に審査を行う。

以上、2件について報告

○ 教育指導部長諸報告

（1）第14回加古川教育フォーラム・家庭教育大学全市研修会兼PTCA活動支援事業研究大会兼東播磨・北播磨地区市郡連合PTA指導者研究集会の合同開催について

2月19日（土）第14回加古川教育フォーラムなどを合同で開催する。

（2）社会教育委員会議の開催について

12月15日（水）に、令和3年度第5回社会教育委員会議を開催した。

（3）市内中学校における通知表の一部誤記載について

市内中学校の1学年1クラスにおいて、通知表の技術家庭科欄に誤記載があった。当日中に対象生徒の家庭を訪問し、謝罪及び通知表の再配付を行った。校長会において、再発防止について周知を行った。

以上、3件について報告

○ 閉 会 午後3時40分